

来週の「売り物」記事はこれ



2013年11月27日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

本土復帰45年

小笠原 苦難の戦後

朝刊 12月1日(日)



ストーリー

海底噴火で新島(しゅんとう)が誕生し、注目を集める小笠原諸島。東京から南に約1000kmに位置し、人口はわずかに3000人たらず。豊かな自然が残る島々は今年、米軍施政下から本土に復帰して45年を迎えました。戦時中、民間人が巻き込まれるような戦闘はなく、基地問題も抱えて



いないため、沖縄のように注目されることはありません。けれども、戦時中の強制疎開に軍政下で帰島禁止など、島民は内地とも沖縄とも違う戦後史の中で苦難を味わってきました。欧米系の父親と日本人の母親との間に生まれた92歳になる女性の半生を軸に、知られざる小笠原の悲劇を描きます。

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待ください。

== 「おんなのしんぶん」2日朝刊からスタート ==

新しい読み物「おんなのしんぶん」が見開きページで始まります。西原理恵子さんの「毎日かあさん」のほかに、料理をテーマにした企画「西原理恵子のおかん飯」(ダイエット編)がスタート。また加藤登紀子さんの対談企画では、加藤さんが、ゲストの笑福亭鶴瓶さんと共に「人との向き合い方」を探ります。20代の人気ブロガー、はあちゅう(伊藤春香)さんのエッセーも注目です。

「ごちそうさん」で注目の“嫁いびり”

平成の嫁姑関係は激変している!?

夕刊2面特集ワイド 11月3日(火)



「あまちゃん」の後番組の「ごちそうさん」が高視聴率をマークしています。その理由の一つが、主人公演ずる杏が小姑にいびられるシーンだとそうです。小姑もさることながら、いつの世でも、嫁と姑の関係は永遠のテーマですが、イエが失われつつある今、嫁姑関係は大きく変わっているのではないのでしょうか。「今の姑は自分の姑を介護した最後の世代で、嫁に介護してもらえない最初の世代」とみるのはノンフィクション作家の今井美沙子さん。果たして、嫁いびりは死語になるのでしょうか。

みんなのフィギュア観戦

くらしナビ面 12月2日（月）～4日（水）

冬のスポーツの華、フィギュアスケート。12月5日には福岡市でグランプリファイナルが開幕します。華麗で、美しいフィギュアですが、観戦のツボを知ればもっと楽しめます。6種あるジャンプの見分け方、スピンやターンの特徴、お国柄による演技の違い——などより楽しく観戦するポイントを、4大陸選手権女子（2004年）で優勝し、現在はプロスケーターとして活躍する太田由希奈さんに教えてもらいました。3回連載です。



子どもへの虐待 脳に影響 くらしナビ面 12月5日（木）



子どもの頃に親から虐待を受けると、心に傷を残すだけでなく、脳の機能や構造を変化させることが日米の共同研究で分かってきました。例えば、あまりに大きなストレスを受けると、ストレスホルモンが多量に分泌され、脳にダメージを与えるといいます。ただ、こうしたダメージは心のケアで癒やされ得ることも分かってきました。研究者らは「ケアの充実を」と訴えます。

Dr. 北村の「女性クリニックへようこそ」

くらしナビ面 8日（日）

日本家族計画協会クリニック所長の北村邦夫医師が、読者の心と体の悩みに答える新連載の2回目です。今回のテーマは「センター試験と生理をぶつけない方法」です。「センター試験を控えた娘は生理痛がひどく、試験に影響が出ないか心配」という母親からの相談に、北村先生が答えます。

